

各種地図調整・印刷/地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 アルプス出版社
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンナゴヤ 6F
TEL 052-931-1009 FAX 052-932-1312
http://www.alpspublishing.co.jp/

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (117) 岡田清治



■プロフィール

著者：岡田清治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リオンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】柳原の頭の中はドロ沼に入っていくようだった(著者撮影)

姪の就職2

二人のテレワーク談話が続く。
「昔、チャップリンの映画モダンタイムズを観たときは驚いた。当時世界はオートメーションに向かってまっしぐらに進んでいたから、その流れを痛烈に批判する内容だったからだ」

「あれは人間の機械化でしょう」

「テレワークだつてある意味、そうだよ」

「通勤時間がいらぬと言いますが、通勤途中でヒントが浮かぶことも多いと思いますね」

「そうだよ。無駄の効用ということがある。人間、きつちり枠にはめてやる仕事はよくないと思う。だけど世の経営者は流れに遅れまいと、急いで導入しているぞうだ」

「どうでしょうね」

「人間の営みを効率だけを求めて実行すると碌なことがないと思うね」

「サービス業なんてテレワークできませんね」

「テレワークできる仕事なんか、そのうちA-Iに取って代わるよ」

「高齢者には関係ないですが…」

「どうだ」

二人の愚痴はいつ終わるかと思われたが、る子は「夕飯の買い物に行つてきます」と言い残して部屋を出た。

真三は小説の続きを読んだ。

「山城昭と産業無尽」は、第二次革命期を乗り切った京都市内の無尽業者三社が合併して昭和十五年に設立された。敗戦後、植田清吉という男が社長をしていた。八十歳と高齢のため、社長とは名ばかりで、実務は長男の息子の伝次郎と次男の竜太郎が代わつてやっていた。

一般の銀行と同様、無尽会社は恒常的な資金不足の時代を背景に業容を拡大して、とくに預金業務と「看做無尽」の取り扱いが認められた点が大きい。金融機関として預金業務を行えないことは弱点であったが、これが認められ普通の銀行と変わらない。「看做無尽」は一定の口座まとめて「組や「団」をつくり、その中で抽選により給付する順番を決めていた。典型型無尽と違って、掛け金者が口座の集まるのを待たずに一定期間経れば、自由給付を受けられるよう、利便性を高めたものである。そして昭和二十六年、議員立法による「相互銀行法」が成立、施行された。

植田清吉は息子兄弟に話しかける。高齢で名ばかりの社長とはいえ、清吉は相互銀行の重きを讀み取つていた。それは自分の会社も大改革しないと生き残れないことを意味していた。その年の十月、社名を「山城昭と産業相互銀行」に変更するとともに、長男の伝次郎が社長に就任した。次男の竜太郎も専務に昇格した。当初、兄弟による経営は順調にいくように見えた。

企業はよくトップ次第だといわれるが、この山城昭と産業相互銀行でも当てはまる。伝次郎は京都美術学校で学んだ。芸術の道に進みたかった。親は経営を引き継ぐことを条件に、美術学校への入学を認めていた。強制的に芸術への道を断念させられたが、親が思うほど本人は簡単に捨てるものではない。

親が元気でその片腕としてやっていた間は、精神的な余裕もあり、絵を描く時間もあつた。しかし、親も通り、孤独な社長となつてくるとは、そうかといつて新しい金融の幕開けと言われても、経営に闘志を燃やさない伝次郎に確たる方策は浮かばない。親の選択は息子を不幸にしていた。次男は年も若く、清吉の頭にも後継者にする考えがなかつた。伝次郎に賭けていた。

「昔から金を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上といわれているが、まさに経営とは後継者の育成が最大の課題なのだ」

人の問題の次に組織があつた。同社は本店を京都に置きながら、支店を福井、奈良、滋賀、甲府、津市、京都府舞鶴市、宮津市というように、他の金融機関が京都市内に集中させている時に、これまで通り遠方に設置している。

「経営者は時代の流れを読み取れない時に失敗する。時代を読めない人は経営者になる資格はない」ということだ。

田舎に支店を置くことは伝次郎の基本姿勢であつた。「都市銀行の金は流動性が高く、落ち着きがない。行儀の悪い金なんです」

都市の商売人は目先が利きすぎて、長期にわたつて金融機関に預けることはない。その点、京都でも宮津、舞鶴、福井県の小浜など日本海側の土地有力者はおおらかなのか、ガツガツとしていない。彼らを支店長に据えて業容の拡大を図ろうとした。東京、大阪、名古屋として京都などの都市型金融機関は逆に支店網を市内に集中させていた。人が都市に集まり出していたのである。時代の流れがそこにある。田舎では金の流動性が低いという利点はあつたが、預金量そのものが集まらなくなつていた。しかも、支店が遠方だから経費がかかり、業績が急激に悪化に向かひ始めた。

昭と産業相互銀行の転換策の遅れが、致命的になつてくる。社長の伝次郎は業績が悪くなると、経費と人件費の切り下げを求めた。そうなる中行員の待遇は悪化する。一方である。ほんほん育ちの芸術型経営者に、行員の生活苦を見抜く力がなかつたか、それとも耐えることだけを求めたのか、三〇年代に入つても業績は一向に回復しない。

「社長、このままではの先、どうなるかわからないよ」

「市内に支店を移せと言つても、余裕資金がなければ専務の君もよく知っているだろう」

弟で専務の植田竜太郎の声も届かない。行員が生活改善を訴えるが、業績を上げることが先決だと言つて伝次郎は耳を貸さない。もう耐えられないと、行員の間に労働組合結成に向けて動き出していた。営業部の中堅管理職A(42)が若手行員を集めてオルグにはいつていた。日曜日にAの自宅に親しいものから順番に呼び込んで、労働組合の結成を訴えた。全行員三百人のうち管理職を除くと約二百五十人いる。第一次の目標人員を三十人としていた。秘密裏に進めるためには、この人数に留めることがいいのだという判断があつた。営業のA課長は時が来たという思いが湧いて、人生を賭ける決断をした。この先がどうなるか完全に詰めたわけではない。若手行員らと酒を酌み交わすなかで、流れを肌で体感していた。そしてやむにやまれぬ気持が昂つてきた。

「玉野も加わるといつてきました」

A課長の自宅に外でのオルグの結果が伝えられる。目標の人数に達したのである。

実はA課長の判断は総務課長の柳原元(もと)の情勢と指導によるものだった。柳原は会社全体の庶務的な仕事のほかに、広報、宣伝を担当。さらに機密費も扱い、銀行の裏から出入りする。ありとあらゆる人間と気脈を通じていた。その中に、叔父が会計事務所を経営する原三郎もいた。

柳原と原の二人は、山城相銀の倒産を目論んでいた。昭和十五年、京都市内の無尽会社三社が合併して「京都昭と産業無尽」になったが、その時の「社」に「伏見無尽」という会社があつた。伏見無尽の経営者が柳原の実父で、三社が合併する時、初代社長の座を約束されていたのだ。ところが合併の一週間前に父、柳原文太郎は肺炎で京大病院に入院してしまつた。一時、回復したので文太郎は銀行に出かけた。入院当初は合併手続きや人事、組織の打ち合わせで伏見無尽時代の専務が病院を訪れていたが、そのうちさつぱり糸がきれたようになってきた。そのため文太郎は不信感を募らせるようになってきた。からだ、ようやく半年後、主治医の許可を得て外出できるようになり、京都昭と産業無尽に向向いたのであつた。

「なんの御用ですか」

「なんの御用」

「…」

「僕(ぼく)の銀行の社長の柳原文太郎だぞ。失礼なことを言つた」

「当行の社長は植田と言いますが…」

「なに、植田。あやうい」

「御用の向きをおしやうとください。勝手に入られては困ります」

受付から連絡を受けた秘書の若い男が、社長室に向かうとする柳原の腕を抱えるようにして応接室に連れ込んだ。

「柳原さん、落ち着いてください」

「どうして落ち着いていられるんだ。植田はどこにいる、すぐに呼べ」

「植田社長はいま留守にしていますが、私が代わりに承りますよ」

「植田社長はもういなくなつた。それは…」

「柳原さん、なににもご存じないのですか。確かに合併時は柳原さん、いや伏見無尽さんは大株主でしたが、すでに以前の専務さんが名義書き替へをしておられまして、いまでは柳原さん個人の株式が三千株ほどあるだけでございます」

「なんだと。畜生、騙したな、告訴してやる」

柳原はそう叫ぶやソファの上に倒れてしまつた。再び京大病院に入院。そのまま帰らぬ人となつてしまつた。柳原の妻も看病疲れが重なつて夫の死後、一ヶ月後に逝つた。母親は死の直前、一人息子の元を枕元に呼んで一通の封筒を手渡した。

それは念書で京都昭と産業無尽の初代社長に無尽三社の社長名で柳原文太郎を初代社長に推挙する一と書かれてあつた。手渡された念書をじつと見ていた時、母親が「敵を討つて」とか細い声で呟いていた姿がいつまでも脳裏に焼き付いて離れない。

私の出会った作品 (55) 杉本武之

◎新美南吉について

新美南吉(本名・正八)は、大正2年(1913)7月30日、知多郡半田町(現・半田市)に、豊屋を営んでいた父・渡辺多蔵、母・り糸の次男として生まれました。前年に生まれた長男・正八は生後18日で死にました。4歳の時に実母が死亡し、その日を境に、南吉にとって苦難の日々が始まりました。

—父は後妻を迎えるために、南吉を父の実家に預けた。翌年、継母の志んが来た。下駄屋を始めた。6歳の時、異母弟の益吉が生まれました。1920年4月、半田第二尋常小学校(現・岩滑小学校)に入学。翌年の7月、両親が離婚。南吉は新美志も(実母・り糸の継母)の養子になった。しばらく養家から通学したが、祖母との二人だけの淋しい生活に耐えられず、12月に岩滑の実家に戻った。1926



『新美南吉』

年4月、半田中学校に入学。暮らしは非常に貧しかった。1931年3月、半田中学校を優秀な成績で卒業。岡崎師範学校を受験したが、身体検査で不合格。母校の半田第二尋常小学校の代用教員として8月まで勤務した。12月に東京高等師範学校を受験するが、今度も不合格。翌年の3月、東京外国語学校を受験して合格した。

1936年3月、東京外国語学校を卒業。希望した中等学校の教員の働き口がなく、東京土産品協会の就職。10月に略血し、帰郷して療養生活を始めた。生活のため、翌年の4月から7月まで河和第一尋常高等小学校(現・河和小学校)の代用教員として勤務した。9月から杉治商会で鶏の雛の世話をする仕事に就いた。1938年4月、安城高等女学校の教諭になっ

た。経済的にも安定し、ようやく長い苦闘の生活から脱出できた。しかし、1941年12月に腎臓が悪くなり、血尿が出るようになった。1943年2月に退職。3月22日午前8時15分、喉頭

結核のため死去。享年30。

半田市に「新美南吉記念館」があります。1994年に「童話『こんぎつね』に登場する中山の森の隣に建てられた小山のような建物です。2010年6月に平成天

この指とまれ

(298) 氏原朝信

昭和55年度常滑西小学校二年二組「どろんこ」

7月10日(木) H・孝子⑤
三時間目にやったゴムとびはむずかしかつたけどおもしろかったです。練習のとき、ひろのくんがはなしたけど、また持つてからとびました。

7月11日(金) T・美穂④
二時間目に算数をしました。じょうぎで7cmのことを勉強しました。私は3回もなおされました。

S・泰弘②
図工の時、紙コップの手のところにあなをあけたらやぶれてしまった。それでうまくできず。

A・伸衣⑤
三時間目に図工をしました。グループでいっしょに作りました。あなをあけるのがむずかしかつたです。ほりでさんに手伝ってもらいました。手が動くか心配でしたが、ストローを動かしたら、手が動いたのうれしかったです。ねん土の上に立てました。

T・雅子①
人形を作ったわらわっている顔をしようと思いましたが、あきちゃんとかみちゃんのはわらわっていただけ、私のだけがおかしくてかいたやつです。

H・朋幸①
7月15日(火) H・朋幸①
絵を三まいかえしてもらいました。

H・和美①
7月16日(水) M・和美①
二時間目、プールに入りました。おにごっこをしてにげたら、おにごっこかまりそうになりました。にげようとしたけどつかまっちゃいました。またやりたいです。

M・真二④
きょうの社会は、うお市場とさかなやさんのちがいがむずかしかつた。少ししか書けなかった。



図工「しんぶんとかきく」

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 土鍋鯛めし

天然の鯛をまるごと一匹使ったおもてなし料理です。

【4人分】

材料

- A 鯛一尾.....300gくらいのもの(内臓を取り除きウロコを取る)
- 塩.....小さじ2←鯛の両面にふっておく
- B 昆布.....10cm(固く絞ったふきんでふく)
- 水.....420cc } 水に浸して30分おく
- C 米.....2カップ(洗って水きりし30分おく)
- D しょうゆ.....大さじ2
- 酒.....大さじ1
- みりん.....大さじ1
- E ごぼう.....20cm(長さ3cm斜め切り)
- 油揚げ.....1枚
- (熱湯をかけて油抜きし、長さ2cmの千切り)
- にんじん.....小2/1本(長さ3cmの千切り)

作り方

- 魚焼きグリルでAを焼く(中まで火は通さず両面こんがり焼き色がつけばOK)
- 土鍋にB+Cを加え混ぜ、Dを入れて、昆布を表面におきEを彩り良く並べる。中央に①の鯛をのせ、ふたをする。
- ②を強火にかけ、沸騰したら弱火にし、10分炊く。火を切る前に30秒強火にし、火を止める。
- ③のふたをあけて10分蒸らす。
- ふたをあけ、昆布を取り除き、鯛の骨を丁寧に取り除き、身をほぐすようサックリ混ぜ器に盛りつけて完成。

ら、私は南吉のことを考えます。私は南吉の童話が大好きです。宮沢賢治とどちがが好きかと質問されたら私は長い間考え込むことになりそうです。考えても結論は出ないでしょう。

人間には誰しも癖があります。和太郎さんにも二つ悪い癖があります。和太郎さんはそれを言われると、いつも恐ろしく、頭を掻き、ついでに背中の痒いところま

「牛引きの和太郎さんは大変良い牛を持っている」とみんなが言っていました。だが、それはよぼよぼの年取った牛で、お尻の肉が落ちて落ちて、あばら骨も数えられるほどでした。そして、空車を引いてさえ、じきに舌を出して苦しうに息をするのでした。

和太郎さんも若かった時お嫁さんがいた。和太郎さんのお母さんの目は、稲の葉先で突いたために潰れて赤い肉が見えている。お嫁さんはその目を嫌悪し

「牛は古出して、べろりと一嘗めやりました。そしてまた一寸動かずにいました。口の中でその味をよく調べているに違いない。お嫁さんはまたべろりと嘗めまし

和太郎さんも牛もびしょ濡れだった。一池の中でも通つて来たのじゃねえかと問われて、和太郎さんは強く否定したが、和太郎さんの懐から、大きな鮒や亀の子が出てきた。」と、おし

で掻くのですが、それと言うのはお酒を飲むことである。村から町へ行く途中、道端に大きな松が一本あり、その陰に茶店が一軒ありました。丁度うまい具合に松の木が一本と茶店が一軒並んでいるというところが、和太郎さんには良くなかったのです。と言うのは、松の木というものは牛を繋いでおくのに良いもので、茶店というものはお酒の好きな人が一寸一服するのに良いものだからです。そこで和太郎さんは、そこを通りかかると、つい牛を松に繋いで、ふらふらと茶店に入つて一寸一服してしまつた。

一寸一服のつもりで、和太郎さんは茶店に入るので。けれど、酒を飲んでいくうちに、人間の考えはよく変わつてしまつた。もう一寸、もう一寸と思つて1時間くらい直に過してしま

ある時、隣の酒屋から、酒樽を町の酢屋まで届けるように頼まれた。運んでいこうと、樽の鏡が外れ、白酒の滓が地面に流れ出した。和太郎さんは牛に嘗めさせた。

「牛は古出して、べろりと一嘗めやりました。そしてまた一寸動かずにいました。口の中でその味をよく調べているに違いない。お嫁さんはまたべろりと嘗めまし

和太郎さんも牛もびしょ濡れだった。一池の中でも通つて来たのじゃねえかと問われて、和太郎さんは強く否定したが、和太郎さんの懐から、大きな鮒や亀の子が出てきた。」と、おし

た。そして後は、べろりべろりと嘗め、お負けにふうふうという鼻息まで加わつたので、大層忙しくなりました。

和太郎さんも茶店に立ち寄り、たくさん飲んだ。その夜、酔つ払つた和太郎さんと牛は家に帰らなかつた。心配したお母さんがお巡りさんや青年団に捜索を頼んだ。朝になつても見つからず、みんな草臥れて駐在所の前で座り込んだ。

「すると、西の方の学校の裏道を、牛車一台やつて来ました。もう仕事に行くのかと、みんなぼんやりした目で見ていました。牛車が駐在所の前を通る時、乗っていた男が『おい、お前ら、朝早い。今日は道普請でもするか』と言いました。見たことのある男だと思つて、みんながよく見ると、それが和太郎さんだったのです。」

まいに、村人たちにも和太郎さんにも、どうしても訳の分からぬことが一つあったのです。それは、牛車の上の一つの小さな籠が載つていて、その中に花束と丸々太つた男の赤ん坊が入っていたことでした。

和太郎さんは、赤ん坊の親が現れるのを待っていたが現れなかつた。「そこで、その子には和助という名を付けて自分の子にしました。」

籠の中の赤ん坊は、離縁したお嫁さんが産んだ男の子だったのでないか、と私は前々から推理しています。本当に面白い童話です。是非読んでみて下さい。

常滑市民文化会館

令和3年度常滑市成人式(十日) 午前の部 開場 午前10時 開演 午前11時(正午)

午後部 開場 午後一時 開演 午後二時(同三時) 入場 関係者のみ 問合せ 常滑市教育委員会生涯学習スポーツ課 ☎44-6600

展示室 あなたのギャラリー

令和2年度常滑高等学校 クリエイティブデザイン科生徒作品展・十五日(金)十七日(土) 午後五時

杉本武之プロフィール

1939年 碧南市に生まれる。

京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。

趣味:読書と競馬



「和太郎さん、赤ん坊の親が現れるのを待っていたが現れなかつた。そこで、その子には和助という名を付けて自分の子にしました。」

まいに、村人たちにも和太郎さんにも、どうしても訳の分からぬことが一つあったのです。それは、牛車の上の一つの小さな籠が載つていて、その中に花束と丸々太つた男の赤ん坊が入っていたことでした。

二月二日(火) 午前九時~午後七時(最終日同三時まで) 第2展示室 問合せ 常滑市立南陵中学校 ☎35-4005

◎常滑市立図書館

グループ向日葵油絵展(油絵)・五日(火)~十九日(火)

◎海洲会展(書)・二十日(水)~二十一日(火)

◎とこなめ陶の森資料館

リニューアルのため休館(二〇二一年秋まで)

◎とこなめ陶の森陶芸研究所

常設展「焼き物で迎える常滑の歴史」・午前九時~午後五時 無料

◎常滑市体育館

少人数での家族葬専用ホール

大阪屋リビング 常滑

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL0569-35-4949

●わーくわーく知多協力店 ●自治労常滑市職員労働組合協力店

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

『芸の道を歩くすぐろく』 藤間 勘萃

遊び方 福笑い、独楽回し、凧揚げ、双六：かつては正月ならではの遊びがございましたねえ。中でも人生に例えることのできる双六は、その年の運試しにもなっていたようで。かの疫病が流行る昨今、あたふたと前に進むことはさておいて、これまでの人生をじっくり振り返ってみるもの宜しゅうございましょう。てなふうで、勘萃が昭和の世からとぼとぼ歩いてきた芸の道をすぐるくしてみました。コマを進めながら「ん？昭和〇〇年かあ、そう言えばあんなことがあったな」だの、「〇〇歳かあ、どんなことをしてんだっけなあ」だのと、どうぞ、皆さまの身に置き換えてのお遊びを。

振り出し 昭和三十三年、勘萃、名古屋に生まれる。(写真①)



写真①



写真②

昭和三十六年(三三歳) 弟たちが生まれる前は、名古屋駅に程近い柳橋で育つたのでございます。ろくな遊び場がないので、幼稚園から帰ると地下街で三輪車を取り回したり、名鉄百貨店のオモチャ売り場を冷やかしたり、不二屋パーラーでおやつを食べたり、映画館のデイズニーに通ったり…週末になるととと芸妓をしていた母方の伯母(後に養子となる)のいる廓で過ごす。勘萃の芸は、こうして種を蒔いてもらいました。(写真②)

早くも十代へコマを進める

昭和五十年(十七歳) 「バッハ弾き」を志すようになり、教会でオルガンを弾いたり聖歌隊を指揮しながらキリスト教を学んでおったのでございます。2年ほどして、ポナルド・サンテオ祭より洗礼を受け「ヨハネ」の名を授けられました。(写真③)



写真③

奏者としてデビュー(ヤマハホール)。

昭和五十二年(十八歳) クラシック・ギター奏者としてデビュー(ヤマハホール)。

昭和五十五年(二十一歳) 中部日本ギター協会『協会賞』受賞

昭和五十八年(二十五歳) 『反核・日本の音楽家たち』名古屋コンサートに出演(愛知文化講堂)。

昭和五十九年(二十六歳) 日本ギタリスト会議『最優秀新人賞』受賞

たの背中を押されて、自らの翻訳による語りと音楽のふたり芝居『テロとぼく』を上演(コンコルディアホール)。

この年から日本福祉大学で講師を務めるようになりました(平成十五

年まで)。

昭和六十年(二十七歳) ルンデ『音楽する仲間たち』(スタジオ・ルンデ) SeriesからSeriesOまでに渡って音楽、ピアノ、チェンバロの先輩がた、そして、憧れの柁屋弥十介師匠(三味線)の胸を借りての修業を。

昭和六十二年(二十八歳) 東海学生マンドリン連盟『第二十二回合同演奏会』(名古屋市民会館大ホール)にて『Critique of pure resonance』を作曲初演して作曲家デビューしたので、もう一回サイコロを振る。

この年には、更なる「バッハ弾き」になろうと、クラシック・ギター奏者から古楽器ハロック・リュート奏者へと転向したので、あと一回サイコロを振る。

三つ進んで三十代へ
平成元年(三十二歳) 勘萃の育ての親、竹内正美プロデューサー(以下、竹内正美P)から『世界デザイン博覧会』テーマ館の音楽を手掛ける大役を仰せつかったのでございます。

平成二年(三十三歳) 編曲をして演奏にも加わったCD『Requiem』がヒューマン・ネットワーク社より発売されました。

平成四年(三十四歳) バッハ『ヨハネ受難曲』(名古屋カトリック五反城教会)にてバリトン歌手の大御所クラウス・オッカー氏の伴奏を務めたり、劇団劇座『ジャングルを救おう』の音楽を手掛けた。

「ちたるまん」とのお付き合いもこの年から。これまでに六十編余りの拙文でお邪魔する嬉しゅうて長〜いご縁になりました。

平成五年(三十五歳) バッハのカンタータ『おしゃべりはやめてお静かに』にて指揮者デビューしたので、もう一回サイコロを振る。

平成六年(三十六歳) NHK教育『日曜美術館』に出演。

平成七年(三十七歳) NHK開局70周年『花の舞・花の宴』に出演。

結婚式場「出雲殿」にて婚禮ピアノを務めるようになったのもこの年のことでございます。三階まで吹き抜けたロビーで弾く名器『ペーゼンドルファー』：「出雲殿」が『ZUMODEN』そして『マリエカリヨン』へと移り変わったこの二十五年の間に、何と数十万人ものお客さまのお耳汚しをさせていただいた勘定になります。(写真④)

平成八年(三十八歳) ピアノ曲集『抒情洋琴曲集』第貳巻を紡ぐ。『孫たちへのバトン』(豊田市、豊田市教育委員会主催)の音楽を手掛け、合唱曲『おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう』を作曲。作詞は竹内正美P。

平成九年(三十九歳) 『心はいつも春』(三重県・紀南健康長寿推進協議会テーマ曲)を作曲。作詞は竹内正美P。



写真④

平成十年(四十歳) 竹内正美Pのもと、碧南市市制50周年ミュージカル『オーバー・ザ・レインボー』を作曲。(写真⑤)



写真⑤



写真⑥

平成十二年(四十二歳) 『生まれたから』(名古屋市民芸術祭)『ソングフォー・ジャパン』テーマ曲)を作曲。作詞は竹内正美P。

平成十三年(四十三歳) 『宗家 藤間流』七世藤間勘十郎より『勘萃』の名を賜ったので、もう一回サイコロを振る。(写真⑦) サイコロを振っている間にToshi (X JAPAN) の弦楽オーケストラを編曲。



写真⑦

平成十五年(四十五歳) ピアノ曲集『抒情洋琴曲集』第貳巻を紡ぐ。

平成十六年(四十六歳) 『ITS世界会議』前夜祭の音楽を手掛ける。

平成十七年(四十七歳) 室内楽『月の光が降り注ぐ逸話』、歌曲『いつまでも聞かしている歌』を作曲。

平成十八年(四十八歳) 朗読劇『絵姿女房』、『地獄変』などの音楽を作曲。

そうそう、「琴修会」と「ライリッシュオカリナ連盟」の顧問に就任したのもこの年のことでございます(平成三十年まで)。

平成十九年(四十九歳) 講演『以心伝心・以身伝心』にて養老孟司氏(東京大学名誉教授)と共演。

五十代へコマを進める
平成二十年(五十歳) 『藤間勘萃の四方山ばなし』を講演(名古屋大・大阪・横浜・新潟・岡山)。

平成二十一年(五十一歳) 『藤間勘萃の古今東西音げしき』を講演(熊本・名古屋・大阪・金沢・横浜・新潟・岡山・丸亀・秋田)。

平成二十二年(五十二歳) 関西二期会オペラ『アメリカ舞踏会へ行く』にて管弦楽を編曲。

平成二十三年(五十三歳) 『秋天の興』(古川美術館開館20周年記念)にて久田舞一郎(大倉流十五世宗家)と共演したり、関西二期会オペラ『ゴジ・ファン・トゥッテ』の室内楽を編曲したり。

平成二十五年(五十五歳) 『孫たちへのバトン』(豊田市、豊田市教育委員会主催)の音楽を手掛け、合唱曲『おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう』を作曲。作詞は竹内正美P。(写真⑧)



写真⑧

江戸のころ、芝居小屋や大道芸と並んで芸の場だった門付け芸(江戸時代のライブ)を平成の世でやってみました。バッハを弾き唄ったり、踊ったり。(写真⑨、写真⑩)



写真⑨



写真⑩

ここで一回おやすみ 柳家喬太郎「文七元結」、古今亭志ん生「おかめ団子」、金原亭馬生「笠碁」、古今亭志ん生「芝浜」…落語が好きで好きで、そりやもう毎日聴いておるのでございますよ。それがまさか勘萃も落語をするようになってくるとは。大学に務めていた頃は「先生」と呼ばれることの多かつた勘萃も、今では「師匠」と呼んで下さる方が多ございます。この「師匠」というのは、落語の中で「お、師匠、そんなに粧し込んで、いったい何処へお出かけかい？」と、道ばたで出くわした旦那衆に冷やかされる勘間(太鼓持ち)になったようで、何とも良い心持がするもんです。(写真⑪)



写真⑪



写真⑫

平成二十六年(五十六歳) 『toyota ART HALL』にて、パーク・シヨ、獅子舞、パントマイム、コンテンポラリーダンス、三味線拍子木、彫刻作品とのコラボ「松のサンバ」を上演。「師匠」、一生ぶんの芸を見せてもらったよ」と大喜びする竹内正美Pに、これで少しばかりの恩返し。(写真⑫)

平成二十七年(五十七歳) 北海道から沖繩までをお父つあん、お母さん、娘の家族三人(今では婿さまも加わって四人)で巡業する野外劇団楽市楽座「バード・フラワー」名古屋公演に客演。木でこしらえた池の上でゆくり回るお盆みたいな舞台上、千代紙に包まれた色とりどりの投げ銭が飛ぶ。芝居、歌い奏でられる音楽、踊り、衣裳、大道具、小道具…すべてを手掛ける楽市楽座に勘萃は恋い焦がれるばかりだよ。(写真⑬、写真⑭)

ほぼ中学生によるプラス楽団「アンサンブル・フレンズ」を指揮するようになったのもこの年のこと、名古屋市民会館大ホール、名古屋「広小路夏まつり」、『Kids☆HALLOWEEN』なんぞで賑やかさを。何しろ日本舞踊家が「吹けや踊れや」と扇子でもって指揮をするのだから仕様がないうね。(写真⑮、写真⑯、写真⑰)



写真⑬



写真⑭



写真⑮



写真⑯



写真⑰

平成一十九年(五十九歳)前年の『夜もすがらバツハ』につづく『暮れがたバツハ』にて京がたり「ひびき藤間勘草」を上演。ところで、京がたり「ひびき藤間勘草」は、生粋の京おんなが紡ぎ語る京都の四季折々に、勘草が音楽を添えるという芸。朗読と音楽が組合わさることは数あれど、どちらも自作自演という構えは珍しいです。(写真⑳)



写真⑳



写真㉑



写真㉒



写真㉓



写真㉔

平成二十八年(五十八歳)伊藤直樹プロデューサーのもと、オペラ歌手京がたり、ペリーダンサー、ヴィオラ名人に助けられながらデビュー以来の夢だった徹夜の演奏会『夜もすがらバツハ』を上演。(写真⑱、写真⑲、写真㉑、写真㉒、写真㉓、写真㉔)



写真⑲



写真⑳



写真㉑

藤間勘草 (ふじま かんすい)

1958年に名古屋で生まれる。
日本舞踊で江戸を踊り(宗家 藤間流名執)、西洋琵琶でバツハを弾き唄い、また、作/編曲家としてオペラから演歌までを手掛ける…そんなふうで、三足の草鞋は満遍なく擦り減っておるのでございます。

- 1980 中部日本ギター協会『協会賞』
- 1982 名古屋音楽大学 音楽学部 作曲学科卒業
- 1984 日本ギタリスト会議『最優秀新人賞』
- 1984~2003・2008 日本福祉大学講師
- 2006~2018 琴修会、ライリッシュ・オカリナ連盟 音楽顧問



令和元年(六十一歳)「おとほぎ」(あいちオカリナフェスタのテーマ曲)を作曲初演。
令和二年(六十二歳)奇なる疫病が流行り、世間さま共ども一回おやすみ
上がり 皆さまと興じてまいりました勘草の『芸の道を歩くすぐらく』も、どうやら上がりに辿り着いたようでございます。が、いえいえ、人生のすぐらくは、まだまだ続くのでございます。あつよ。



写真㉒

選暦を迎えて振り出しへ戻る
平成三十年(六十歳)Y&S寄席コン season2〜3にて京がたり「ひびき藤間勘草」を上演したり、関西二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の管弦楽編曲をしたり、合唱曲「弥陀観音大勢至」を作曲したりの年でございました。(写真㉑)

感謝

—古式伝承の酒造りを
これからも守り伝えます—

日本でも数少なくなった「麹ふた」による手造りの麹造り。この製法を行う麹室を昨年11月末の火災で焼失してしまいました。大変多くのご支援・ご声援のおかげで、製造再開を予定しております。今年の秋には麹室再建を目指し、未来に向けて新たな一歩を踏み出します。今後とも澤田酒造 白老をどうかご愛飲くださいますようお願い申し上げます。酒蔵開放は、新酒ができるまで延期させていただきます。

醸造元 **澤田酒造株式会社** 〒479-0818 愛知県常滑市古場町4-10
営業日:月~土 9時~17時 TEL:0569-35-4003 FAX:0569-35-6953

古式伝承
白老
ハクロウ

清酒白老
梅酒白老梅

酒は 味噌・たまりは **おのひ** 盛田 morita onoyakata **盛田 味の館**

盛田株式会社
本社 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目7番34号 TEL(052)229-1600
工場 〒479-0807 愛知県常滑市小鈴谷字龜井戸21-1 TEL(0569)37-0511

2021年2月14日(日) 9時~15時
「2021ねのひ蔵開き」を開催いたします。
※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合がございます。

詳しくは、盛田株式会社ホームページでご確認ください。(1月中旬から)
URL <http://moritakk.com/>

TEL (0569) 37-0733 (火・水曜休館)

知多の新鮮たまご発酵ケイフン
(有)知多エッグ
知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

名工たちの作品を多数ご用意しております
常滑焼 急須卸販売 株式会社まるふく

まるふく
〒479-0845 常滑市森西町2丁目46
TEL(0569)35-2209 FAX(0569)34-5745
info@e-marufuku.net
●営業時間 AM9:00~PM4:00 土・日・祝日休みです

Quality Foods
イシハラフードは お客様と共に「安心」「安全」「おいしさ」を食品を通して考えています。

ISHIHARA Quality Foods
確かな味、信頼の品質、地元商品の育成。

わたしたちには「こだわりの商品」がたくさんあります。(株)イシハラフード・常滑店 ☎(0569)35-5355 正月も通常営業いたします

ジェム電子水を使った手作りパン&クッキーの店
パン工房 ジェムパン

中日新聞各紙(宅配)をご購読中のみなさまへ
新型コロナウイルス感染予防対策として
ご集金・ご契約などの業務での訪問の際は
マスクを着用してお伺いする場合がございます。

併せて、うがい・手洗いの励行・咳エチケット等消毒の徹底を心がけています。

現在あかい新聞店では、感染予防策として訪問・集金を控えさせていただくため、新聞購読料のお支払い方法を自動振替へ変更していただくことをご案内しております。

詳細は担当 赤井まで 気軽にお問合せください
中田新聞 武豊 0569(72)0356
あかい新聞店 常滑 0569(35)2861

1886年創業。地域とともに130年。
半田中央印刷のトータルソリューション 印刷の枠を越え、総合的な「価値」をご提供します。

クリエイティブ デジタル 空間 印刷 マーケティング 経営コンサル

P.T.C. GROUP 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
半田中央印刷株式会社 TEL.0569-29-2525(代) FAX.0569-29-4500

納経帳をはじめ、弘法参りの関連書籍を販売しています。お電話にてお問い合わせください。

美の回廊 Vol.47

水野 伊津子 「心に残る美しい村」

この紀行文が発行される頃は年が明けて2021年になっています。2020年12月現在、コロナ禍は終息を迎えるどころか世界中に第3波の流行が襲ってきて主要都市はロックダウンかそれに近い政策をとらざるを得ない状況です。そんな状況下では、来年のスケッチ旅行の予定も立てられず、健康に安全に日々を過ごし、早い終息を願うしかないです。そんなわけで過去のスケッチ旅行を振り返って紹介します。

心に残った美しい小さな村

①アルバラシン(Albarracin)はスペインのアラゴン州テルエル県の小さな中世の村。スペインの美しい村といえ、南のアンダルシアの白い村が有名ですが、この地方は赤〜ピンクの建物が多く中世の雰囲気のある村々が点在しています。中でもアルバラシンは、標高1,200mの高地に位置し中東部の人口1,000人程度の川沿いの山間の村で「スペインで最も美しい村」と呼ばれることもあります。有名な建築があるわけでも、大勢が見に来る名画があるわけでもないひびきたる村ですが、絵を描く人なら足を踏み入れた途端、魅了されることでしょう。



A. アルバラシン全景

曲がりくねった坂道に木造の古い建築は出窓があつたり傾いていたりして、小さな路地の空間を面白い形に切り抜いています。街中のすべての建物は近郊のサントクリストの石切り場からとれる赤石膏によるもので塗られていてどこを向いても絵になる景色が広がる魅力的な村。



B. 傾いた家

頭にALがつくのはアラブ時代の名残です。度重なる戦いの歴史からキリスト教支配となる間に強固な城壁 カテドラルなどが作られていきました。イスラム教コドヤ教キリスト教が時に共存し時に争ったことで世界に類を見ない唯一無二の景観を生み出しています。

ここを訪れたのは16年前でした。絵を描くグループが来た村中で噂が走り、子供たちやおじいちゃんおばあちゃんからあとから話しかけてきました。なんとも素朴な田舎といった風情でしたが、有名旅行雑誌に紹介されるとあれよあれよという間に立派な観光地になってしまい、ホテルもたくさんでき、土産物屋が並び、大型観光バスも入るようになったようです。

グルメ

スペインでは、シュスタ(昼休憩)の習慣があるので夜が遅くて、たいてい夜8時半くらいから夕飯です。昼間はサンドイッチなどをもって食べ歩きながらスケッチするので、夕方日が落ちて、遅い夕食はバル(bar)と呼ばれる小皿料理のお店でした。

ここでは人生で初めて、山羊のステーキとウサギのローストを食べました。山間部ではジビエが多いです。新鮮なサラダはお目にかかれません。山羊のチーズやイペリコ豚の燻製がごちそうです。味付けはシンプル、オリーブオイルに塩コショウそしてローズマリーなどのハーブ、あとはワインです。グループの女性たちも飲むは飲むは。飲めない私は、レモネード。



C. ぐぐり抜ける路地

自然

ここに到着するのに、ガイドが不慣れでナビの設定を最短距離で設定してあったらしく、とんでもない山越えをしたのです。舗装されていない山道を行くと、山羊飼いのおじさんに道をふさがれたり、ぐるぐるヘヤピンカーブの連続だったり、散々な道中でした。しかし、高地の植物は美しかったです。ハーブが雑草のように生えています。ゼラニウム、カモミール、西洋ノコギリソウ、西洋アザミ、そしてどこにも生えている真っ赤なゲシ、スペインではアマポーラと呼ばれています。素敵な名前です。



D. エル・グレコ 「オルガス伯の埋葬」

アルバラシンに入る前に取材した世界遺産の都市トレドのサント・トメ教会には有名なエル・グレコの「オルガス伯の埋葬」があります。アーチ形に描かれた絵は半分に天上と地上に分かれた世界。悲しみに暮れる参列者、死者を支える二人の年齢差がわかります。細長い顔が縦長構図よくはまっています。画集で見るとは違い、緻密な筆さばきまで見られ大きさに圧倒されます。



写真1 ピーマンの葉のさんぴらと、小づつばの煮つけ

今夏、プランターに植えたピーマンが結構収穫できた。何年も挑戦して初めて成功。さすがに、秋になったら実を付けなくなり、葉っぱもやや元気がなくなつた。引き抜こうとしたとき、ずいぶん前のことだが、通りがかりのおばさんから「葉っぱ食べれるよ」と聞いて、ほんの少しだけ煮てみたことを思い出した。

あらためて、ピーマン葉レシビでググってみたら、なんと関連記事が約380万件もあるではないか。面倒くさい、という気持ちを抑えて、葉っぱを一枚ずつハサミで切り取り始め、小

指の先ほどの小さい実も切り取った。4本処理するのに30分以上はかかった。しかし、私は単純作業が好きなのもあって、その間自分の世界に没頭できた。なぜか、頭の中に高校の現国で習った堀雄雄の随筆「浄瑠璃寺の春」が出てきた。朽ちていくピーマンの枝が作品中の小さな廃寺、それと、わずかに残つたピーマンの花があしび(アセビ・馬酔木)の白い花のイメージに重なつたからだろうか。そんなわけでその単純作業は実に心地良い時間だった。

枯れかけて抜いたのを可燃ごみで出せば燃やされるだけ、草・木ごみで出したらリサイクルされそうだが、今回はかなりの手間だったが、出来上がった料理2品はなかなかの美味、絶品だった。売ら

れている「ほんのお供の類は、通常の総菜に比べると結構高である。そう考えると勝手に金額換算すると、なかなかの金額になるのではと思つた。

『金のなる木』は、葉がコインに似ているのが名前の由来の観葉植物である。役目を終えたピーマン、その葉はコインには全く見えないが『金の貯まる木』と命名したいと思つた。

あ、コロナが収束したら浄瑠璃寺、行つてみたい！

伊藤明徳

応募

日々の生活の中でチョットしたこんな事・あんな事・心和む事、面白いエピソード等この欄へどしどし応募してください。(原稿用紙2枚程度)

応募先:あかい新聞 武豊店(郵送またはFAXにて)
住所:知多郡武豊町字金下37番地
TEL:0569-72-0356
FAX:0569-72-6002

今日もKちゃん仲間よし



今からKちゃんとお勉強。たし算とひき算をKちゃんはお勉強しているよ。Kちゃんを横に僕はかけ算をお勉強さ。「Kちゃん、それ違うよ。13だよ」と、答えを教えたよ。解き方を教えずに、答えを教えたよ。つたから、監督のおじいちゃんに注意されたよ。どう教えられるのかわからないよ。指で教えるまねと教えればいいのか? そんな簡単なたし算を間違えるのかな? が、僕の本音さ。それとも、僕とおじいちゃんに監督されて「Kちゃん、肩の力を抜いてお勉強してよ。さあ!!」と、また僕を助けてくれたよ。今日もエールを送ったよ。

もうすぐクリスマスだね。僕はサンタさんがいると信じているんだ。僕はサンタさんにプレゼント

のお願いをしたよ。テニストラットが欲しい!! ママね。Kちゃんもシンデレラになりたい!! ママね。僕はシンデレラはいないよ!! と、Kちゃんに教えたよ。あ、ママね。Kちゃんも変な顔をしてたよ。その会話を聞いたおじいちゃんに僕は言われたよ。「シンデレラは探せばいるかもしれないよ!!」と。僕は思った。きつと、これはKちゃんの夢を壊しはけないよ!! ママ、ことだなあ。納得できないけれど、まあいいか! 僕はテニストラットを楽しみにしよう!! サンタさんからテニストラットをプレゼントしてもらったら、お兄ちゃんもテニスをしよう!! ママ、お兄ちゃんも野球が大好きだから、サンタさんにお願ひするなら、グローブ、バット、ボール、野球道具一式かな? あっ! ゴルフもカッコいいよね。ゴルフ道具一式かな? 今、いろいろと考える。考える僕にお兄ちゃんも「サンタはパパだよ」と、ポソツと言った。でも、僕は信じているんだ。サンタさんはいらっしゃる。サンタさんは絶対にいると思うよ(一)

若竹俳壇

作品募集 毎月十日までに葉書で発行所へ

- ▼一万人卓球大会・九日(土)
- ▼全国高等学校選抜卓球大会・シゲルス愛知県予選会・十一日(月・祝)
- ▼高校新人バスケットボール競技知多支部予選・十六日(土)
- ▼常滑市民バドミントン大会・十七日(日)
- ▼ウイングカップ常滑(ソフトバレーボール)・二十四日(日)
- ▼高校新人バスケットボール競技愛知県大会・三十日(土)〜三十一日(日)
- ◎知多市子ども未来館 五日(火)〜三十一日(日) 午前九時〜午後五時 場所 2F 工作室 時間制限、人数制限あり、自宅製作キットあり
- ▼高紅葉土麻を紅に彩りて開戦日米軍は未だ銃社会海越えて孫の声を冬ぬくし寄り合えば昭和に還るおでん鍋落葉に伸びる一本照紅葉落葉たき芋焼いた日のなつかしき戦や愚痴言ふ妻に逆らわず晩学や寒灯に置く拡大鏡若き日の想い新に賀状書く寒鴉声出し合いて右左冬ぬくし上着の荷物ひとつふえ小春日の当てる顔の座大仏落ち葉すすべらぬ様に音楽し小春日や素人庭師活躍す師走り追いかけられたる気分七十五年前初冬ゆるがし大地震が格子より覗く街道時路みこむ児木枯しに負けしペダル踏みこむ児雲走る雲流る雲動く秋冬至にと南風届けに友来る紅葉の便りあちこち才三波秋高し合唱の灯は絶やさない魚屋の客が追いやる冬の蠅空青く真菰の花の囁きりり空鍋や一人鍋でもほつりり師の家や国旗掲げて文化の日旅客機の爆音久し暮の秋小春日や素人庭師活躍す表見せ裏みせ風情に舞う落葉新米を待ち侘ぶ友のメールかな焼いもや眼鏡はずして頬ぼれり神社もや小春日和や歩を延ばすこすもすや小春かな小春かな突堤に釣り竿並ぶ小春かなセーターも野良着とした小百姓文化の日受勲の社主をたきやぬ未枯れて寂し垣根に山茶花や枯芝に孫も子犬もころがりてそれぞれに独り言あり納め句座見惚れたる目尻の皺や爛熱よく今年のは牛の歩みによりそうよ
- 対象 どなたでも
- ▼工作「ぐにやぐにやだこ」 内容 ビニールに絵を描き、竹ひご、たこ糸などで作ります。一個 二百二十円
- ▼工作「ぐんぐんだこ」 内容 ぐんぐんだこのキットで作ります。一個 二百円
- ▼工作「ふくわらい(正月あそび)」 内容 板に顔の形にセツとした布をはり、木のチップに色付けし、顔のパーツを作ります。一個 二百二十円
- ▼工作「こまづくり」 内容 糸引こま(3種類)・リールこま・ヨーヨーなどのこまに色を塗って回します。一個 二百四十円〜五百円
- ▼工作「せつぶんかざり」 内容 板におにさんやおふくさんを作つて飾ります。一個 百八十円
- ※詳しくは同館のホームページを参照
- ◎ギャラリーCora (常滑市観光プラザ内) ▼竹内文子 作陶展ねんど語り・八日(金)〜十八日(月) 午前九時〜午後五時半 無料
- ▼常滑「手造り急須」の会 作品展・二十二日(金)〜二月一日(月) 午前九時〜午後五時半 無料
- ◎方円館 ▼アルパート・サスラ陶展・十三日(水)
- ▼片岡秀美陶展・十五日(金)〜二十七日(水)
- ▼村田益規 陶展・二十九日(金)〜二月十一日(木・祝)
- ◎武豊町立歴史民俗資料館 ▼昔のくらし展・二月七日(日)まで
- ◎武豊町中央公民館 ▼パソコン広場・七、十四、二十一、二十八日(各木) 午後一時半〜同四時半 問合せ ☎090-18422-4251(鈴木)
- ◎武豊町民会館 ゆめたろうプラザ ゆめたろう寄席「納涼の会」・十五日(金) 午後二時開演
- ◎長尾児童館 ▼節分のお話とお面作り・三十日(土) 午後一時半〜同二時半(最終受付は同二時まで) 申込不要
- ◎くすのき児童館 ▼節分のお楽しみ会・三十一日(日) 午後二時〜同二時五十分 要申込
- ▼折り紙でお正月飾りを作ろう・五日(火)〜七日(木) 午前十時〜午後四時十五分の好きな時間 申込不要
- ▼数量限定あり) ろう・九日(土)〜三十日(土) 午前十時〜午後四時十五分の好きな時間 申込不要
- ◎おおい児童館 ▼ハスの花を作ろう・十六日(土) ①午前一時半〜正午 ②午後一時半〜同三時 要申込
- ▼ミニ豆まき会・三十一日(日) 午後一時半〜同二時半 要申込
- ◎富貴児童館 ▼おはなしカルテット・九日(土)・十四日(木)・二十二日(金) 午前一時半〜同十一時半 要申込
- ※児童館の定員によりお待ちいただく場合があります
- ※当面の間、児童館のご利用は武豊町内の方のみに限らせていただきます
- ◎半田空の科学館 ▼リフレッシュプラネタリウム「ポロライナイト」北極点の星々「アロマの香りに包まれながら美しい音楽とともに楽しむヒーリング番組。北極ではこの季節、太陽が一日中昇らない極夜、厳しい自然の中の広がる極点の星々はまるでメリーゴーランドのような動きで私たちを楽しませてくれます。十四日(木)〜三月十八日(木) 毎週(木)午後二時〜同二時半 ※祝日の投影はありません 観覧料 三歳〜中学生 百十円 高校生以上 二百十円
- ▼冬の企画展「おかしりーはやぶささ」遊びと冒険の広場「十二月に小惑星「りゅうごう」から貴重なサンプルを地球に届けてくれた「はやぶさ2」のミッションについて、わかりやすく展示します。二月二十三日(土)〜三月二十八日(日) 各午前九時〜午後五時 観覧料 無料 問い合わせ ☎23-7175 学館

